

平成20年10月

第5号

(仮称) 第四次稲城市長期総合計画市民会議

# 市民会議だより



(仮称) 第四次稲城市長期総合計画市民会議の第5回会議を10月9日(木曜日)に開きました。

前回の分散会で話し合われたことをもとに、これからどのような分野をどのように分科会で話し合っていくかについて、全体会でじっくり話し合いました。また、市民会議提言書策定に向けて、稲城市の主な事業や市民意識調査の結果などを確認しました。

## 第5回 市民会議を開催しました

10月9日（木）、地域振興プラザ4階会議室において第5回（仮称）第四次稲城市長期総合計画市民会議を開催しました。

各グループの代表者より、前回の会議での分散会の討論の報告がされ、その後、稲城市の「みどり」「産業、就労の場」「まちの賑わい、交通」「子ども、高齢者、障害者」「災害対策」「地域社会、市民活動」といった課題を、分科会でどのように分かれて話し合っていけばよいか検討しました。

後半は、事務局から市民会議提言書策定に関して、「第三次稲城市長期総合計画・基本構想（抜粋）と施策の大綱に応じた主な事業等」と「市民意識調査の主な調査結果」について概要を説明しました。出席者：18名

### ◇各分科会からの報告◇

#### 【前回の議論では】

- ①計画の基調は「成熟型経済」→人口増加を基準にしない
- ②将来都市像のキャッチフレーズ  
→「みどりにつつまれ、誰もが安全に暮らしやすいまち」
- ③みどりにつつまれたまち  
→稲城にとって“みどり”という言葉は大切
- ④高齢者・障害者が暮らしやすいまち  
→市内へのアクセス、設備利用の利便性
- ⑤子育てしやすいまちづくり →特色ある学校づくりを！
- ⑥平和で安全なまちはみんなの願い  
→地域のつながりがいい。市全体で取り組むものを！

グループ  
豊か

人口は、これ以上  
増えなくても良い

障害者が親亡き後一人  
になって、暮らしていけるか不安

福祉の現場は人材不足  
なので、就労の創出が考  
えられる

手入れの悪いみどりが多  
い。きちんと管理しないと  
不衛生

出産率が高い、  
子育てしやすいまち

グループ  
新高

緑の多さは変えたく  
ない

人々が住みたい  
と思うまちであれば、人口は自  
然に増える

市から長期総合  
計画の情報がない  
状態

子どもの多いまちは夢の  
あるまち

市内に市民の活動に適  
した施設はかなりある。  
その活用が重要だ。

# グループ 稲城

## 【前回の議論では】

- ①計画の基調として、これ以上の宅地開発・人口増加は望まない。  
→いまあるコミュニティの発展を望む
- ②将来都市像 →「みどり」と「コミュニティ」がキーワード
- ③災害に強いまち
- ④農家と消費者がふれあうまち、働く場の確保が必要  
→農家への補助、農家の人が暮らしやすいまちをつくっていくこと  
で特色あるまちづくり

これからの稲城を「明るく楽しい」  
ところにした

大規模災害時に備え、幹線  
道路網の整備を望む

市民病院はなんとしても  
守る必要がある

「施設」より「施策」、  
ハードよりソフトを重  
視したい

自然を守るためには、施策  
と予算付けが必要だ

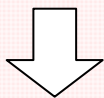
「駅の道」のような  
場所をつくり、市  
内の物産を販売  
したらどうか

◎各分科会の討論では、これからの稲城市は、発展型の右肩上がりの成長ではなく、今いる人たちの実質的な幸せを目指す成長を望んでいるというのが共通した意見です。

## ◆全体会での議論◆

前回の全体会で出た分科会案をもとに、稲城市の課題を6つに整理しました。それを今後の分科会で話し合うために、どのように分かれたらよいか検討しました。

1. みどり
2. 産業、就労の場
3. まちの賑わい、交通
4. 子ども、高齢者、障害者
5. 災害対策
6. 地域コミュニティ



- ★みどり、災害対策 . . . . . 分科会 A
- ★福祉、教育 . . . . . 分科会 B
- ★産業・就労、まちの賑わい、地域コミュニティ . . . . . 分科会 C



次回はこの分科会案をもとに、今回欠席の委員も加わり、各分科会がそれぞれの課題について議論を進めていきます。

## ◇市民会議提言書策定に関する資料より（一部抜粋）◇

### 稲城市の将来人口

平成17年5月	人口	76,000人を超える
平成17年11月	基本計画の見直し	
	平成22年度の人口（推計）	80,089人
平成19年10月	人口	80,472人
平成19年11月	平成22年度の人口（推計）	84,167人

### 定住意向

	ずっと住むつもりである	当分の間は住むつもりである	計画はないがそのうち転出したい	近いうちに転出する予定	わからない	無回答等
昭和55年	43.9	26.8	23.7	3.9		1.5
平成元年	39.2	34.2	23.1	2.3		1.2
平成11年	34.9	34.7	15.3	3.1	12.0	
平成16年	49.5	30.4	6.2	2.7	10.5	0.8

※昭和55年、平成元年の調査では「わからない」という選択肢なし。

- ・「ずっと住むつもりである」と「当分の間は住むつもりである」の計は、昭和55年（70.7%）、平成元年（73.4%）、平成11年（69.9%）と70%前後であったが、平成16年（79.9%）とほぼ80%となった。
- ・「計画はないがそのうち転出したい」は、昭和55年（23.7%）、平成元年（23.1%）、平成11年（15.3%）と平成16年（6.2%）と減少を続けている。

### 次回の市民会議

次回の市民会議は、10月23日（木）の19時から地域振興プラザ4階会議室で開催いたします。今回の会議で出された分科会案をもとに、グループに分かれて議論をしていきます。

これまでの「市民会議だより」をご覧になって、「市民会議」ではどんなことをしているの？と興味をもたれた方は、下記の事務局までお問い合わせください。



稲城市の特産品：梨

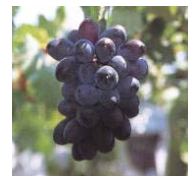
(仮称)第四次稲城市長期総合計画市民会議 **市民会議だより**

**\*お問い合わせ\***

稲城市企画部長期総合計画担当

☎206-8601 稲城市東長沼 2111

☎042-378-2111 内線 537



稲城市の特産品：ぶどう